


【件名】	番所橋維持工事（塗装）	【事務所名】	第五建設事務所	
【工事場所】	東京都江東区東砂二丁目地内から同区大島八丁目地内まで	【受注者名】	東海塗装株式会社	
【工期】	平成29年11月7日から平成30年3月30日まで	【主たる技術者名】	主任技術者など 福原 智行	

【工事概要】

番所橋（橋長L=29m、鋼単純合成鈹桁橋）の塗装塗替工事である。（塗装面積：1,553㎡）本工事は、着手後の調査により既設塗装に鉛・PCBが含まれることが判明し、作業員の健康確保及び第三者への飛散防止に特段の配慮を要する工事であった。

【表彰理由】（※発注者側評価）

急ぎ剥離剤を用いた素地調整工になり、工種が増えたり、より厳しい安全対策が求められることになったが、迅速かつ緻密な工程計画を立案し、安全対策も万全に行い工事を進めた。地元住民の憩いの場である小名木川のテラスを跨ぐ橋梁であるが、騒音や粉塵を抑えるとともに通行にも影響することなく工事を行った。仕上がりの状態が良好であり、出来栄は非常に完成度の高いものであった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

工事着手後の調査により既設塗装に鉛・PCBが含まれることが判明し急ぎ対策が必要となった。工期がなく工期短縮の為、作業員を増員し手待ちにならないよう工程管理を行った。又、塗膜の早期剥離に影響を及ぼす黒皮を除去する素地調整工に特に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

素地調整工において、湿式工法による塗膜剥離工とダイヤモンド刃を装着したグラインダーにて丁寧に除去し、品質向上・経費削減・工程短縮に努めた。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

第一に無事故で現場を完工したことが何より嬉しく、又、極めて高品質な塗装となり達成感がありました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

湿式工法による塗膜剥離はこれから増えていく工法と思われ、今回の工事の施工方法・安全管理工程管理を伝えていければと思います。



防護服を着用した2種ケレン状況